

不登校関係者情報交換会 (教育探求ひろばコラボ企画)

高校生ボランティアのファシリテーターとして、「不登校の子が入りやすい教室」をテーマに議論しました。

教室に入りづらい要因や安心できる雰囲気について話し合う中で、多様な背景を持つ方々から多くの新視点を得られました。特に「学校で役を演じる大切さ」という意見は、別の角度から考えを深める契機となりました。

時間内にまとめる難しさはありましたが、対話を通じた学びの多い貴重な時間となりました。



こども家庭庁プロジェクト

こども家庭庁の「はじめの100ヶ月」PR動画募集を知り、FESで子供たちと関わる中で感じていた「小さな積み重ねの大切さ」を伝えたくて応募しました。

FESでは、些細なやり取りでもこどもたちの安心や成長に繋がる瞬間があり、その積み重ねこそはじめの100ヶ月の大切さだと感じてい動画を通して、その思いを少しでも多くの人に知ってもらえるといいなと思います。



スタッフ活動の感想：三友さん

週1回の一対一活動では、とにかく相手の子に「FESのzoomは楽しい時間だ」と思ってもらうこと、信頼関係を構築していくことを意識して活動しています。

どんな言葉をかければ良いのか、どのような活動内容にすればよいのかなど悩むこともありますが、助言を頂き試行錯誤を重ねる中で、自身が成長していけることもFESの魅力だと実感しています。

今後も保護者様と連携しながら有意義な時間を作っていきたいと思います。

